

船舶事故等調査報告書

平成21年10月1日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|------------|--|---|
| 事故等番号 | 2009神第207号 | |
| 事故等種類 | 乗揚 | |
| 発生日時 | 平成21年6月8日 14時40分ごろ | |
| 発生場所 | 徳島県今切港 | |
| 事故等調査の経過 | 平成21年7月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | <p>船種船名、総トン数 貨物船 第二ゆたか丸、698トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 131460、光晴汽船株式会社</p> | |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、三級海技士（航海） | |
| 死傷者等 | なし | |
| 損傷 | 船底擦過傷 | |
| 事故等の経過 | 本船は、船長ほか4人が乗り組み、セメント約867トンを積載し、船首約3.0m、船尾約3.9mの喫水で今切港を航行中、平成21年6月8日14時40分ごろ、船底に衝撃を受けた。 | |
| 気象・海象 | <p>気象：平穏</p> <p>海象：平穏、潮汐 上げ潮の初期</p> | |
| 分析 | 乗組員等の関与 | あり |
| | 船体・機関等の関与 | なし |
| | 気象・海象の関与 | なし |
| | 判明した事項の解析 | 本船は、浅瀬が存在する河口付近を航行する際、浅瀬に対する配慮が適切でなかった可能性があると考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、本船が今切港において航行中、浅瀬に対する配慮が適切でなかったため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。 | |